

「リテラシー形成メディア」と
しての「おもちゃ絵」Ⅱ

日本体育大学図書館所蔵品から

第141回 全国大学国語教育学
会世田谷大会（オンライン）

2021年10月17日（日曜日）

13：50～

様々な「おもちゃ絵」 一枚刷りの木版（銅版）印刷物

1. 知識・教訓画（文部省発行・民間発行）
2. もの尽くし
3. ストーリーのあるもの
4. 切り離して遊ぶもの 立版古・手遊び
5. そのほか

これらを順に紹介していく。

1873（明治6）年文部省布達幼「幼童教育ノ為
× 絵画器品配布」

幼童家庭教育用絵畫

文部省製本所発行

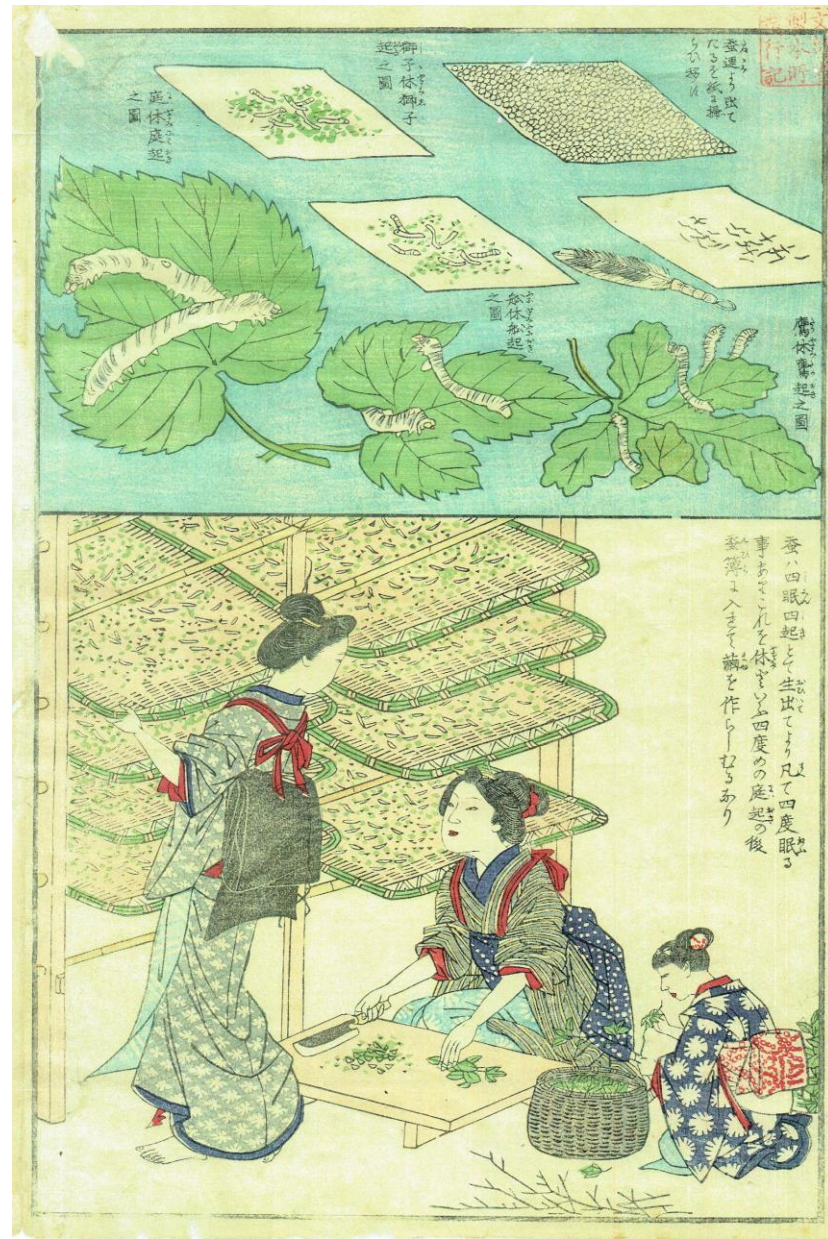
(1) 衣食住之内家職幼絵解之図 第二 木樵





(2) 農林養蚕図







(3) 教訓道德図







(4) 西洋機械発明家図

図版の材料は「自助論」（スマイルズ：セルフヘルプ）からが多い。セルフヘルプは、『西国立志編』（中村正直訳）として知られており、福澤諭吉の『学問のすすめ』と並んで、明治初期の二大ベストセラーだった。

ワット：英国の瓦徳（ワット）は蒸気機関を造出さんとして土瓶の口より出る湯気の水に成りたるをヒにて一滴づつ計り居たりしを叔母其無益の事に時を費すを憤りしが遂に機関を発明し数多の功をあらはせり

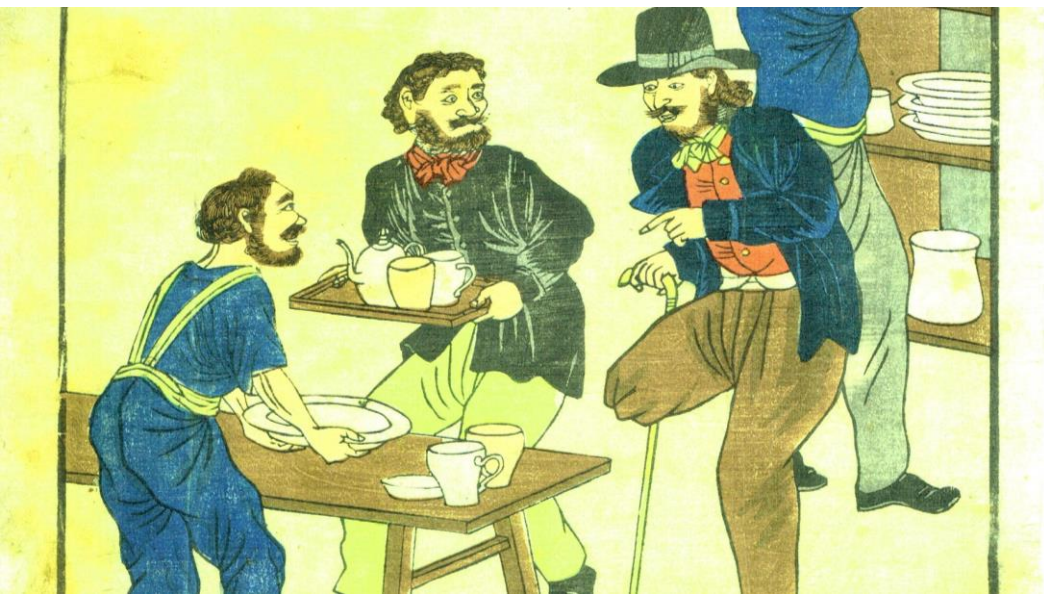
以下、同様の「西洋機械発明家図」数点を紹介する。







奥皮棒の時
 と置て撰寫せ
 置く敷月にて
 鼠其内一乘
 心と傷とあり
 碎片とあり
 失せせ者のか
 記簿と筆を
 三年ふ
 更と好と竟と



両ありと
 得る所ありと



比耳の女子多かりしハ農隙の布を織々々々其布ハ花草を印
 多ハ機を造らんとい心を苦む
 うち錫鉛を交ハ製する礪の上ノ上ノ圖を
 畫くと忽ち此機を發明一遂大利を得
 たり



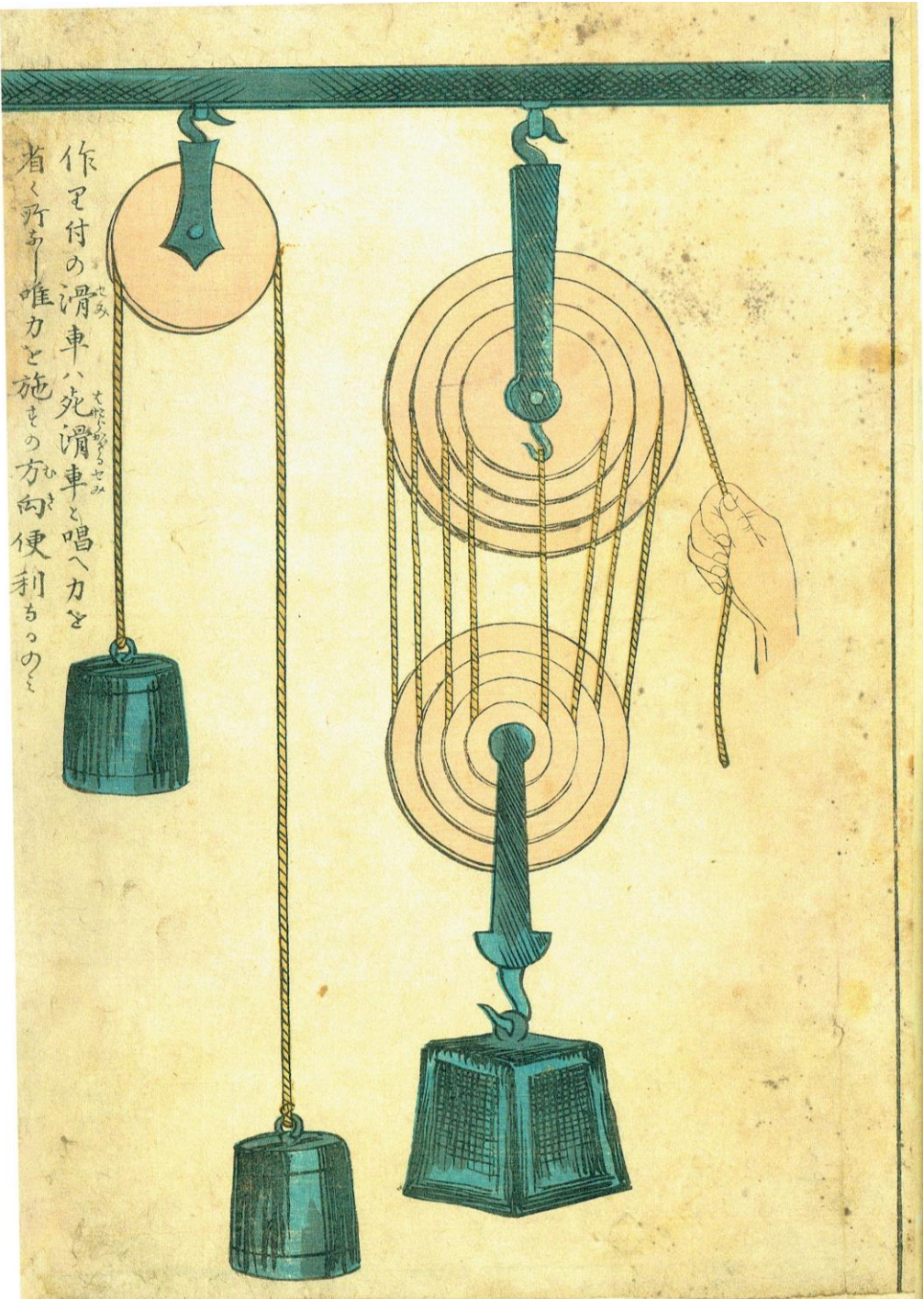
至るハ
 畫車ハ
 灰起り
 用す
 可し
 用す
 可し
 用す
 可し

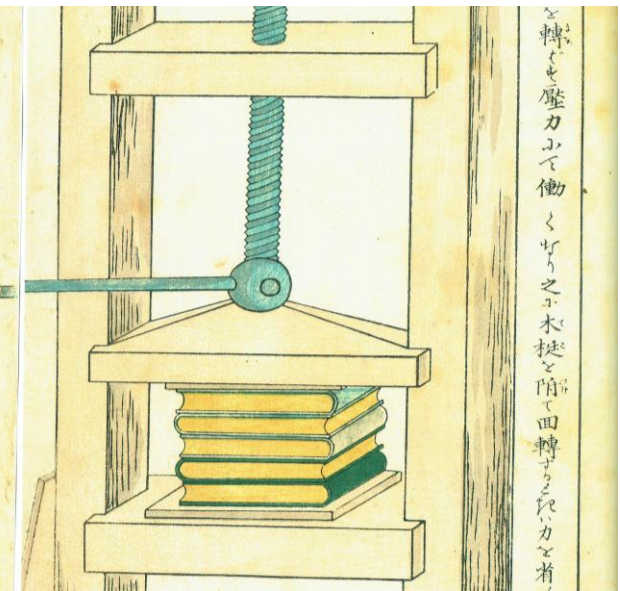
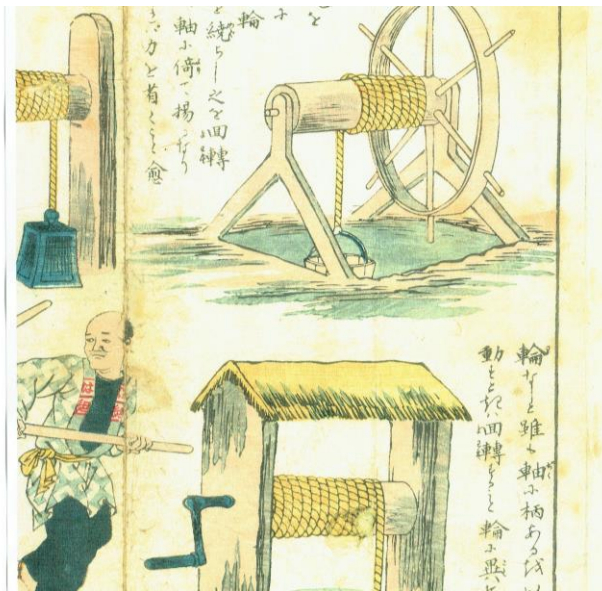


(5) 数理図



(5) 木槌・滑車図







(7) 空氣・浮力図



(8) 幼童絵解運動養生論説示図

Gymnastic (体操・体育) のすすめ

「ジムナスチック」というカタカナ語が登場する。

現今は大抵この法を用いれども往古の読書人は只勉強するのみを知て養生をせざるゆえ大抵身体脆弱にして
勇なく無用の人となれり

幼童絵解運動
養生論説示図

毎日教授朝九時より
始り十二時終る中食を
して又午後二時より五時迄と限るに
昔古中の最も厳

いと或ハ腹見と
言語とまるもの如きも皆
夫々の器と與ふ然きども
其間ハ休の時間有りて
必に遊園或は花木と
植流川と引築山と持ち遊戯
奔走地とに休の間は皆その小

出へ或ハ綱渡り 或ハブランコ
或ハ輪と廻ハ鞠或は投げ
四肢と運動一 此体と健康
とて是とジムナスチックといふ
又此遊びと教ふる先生
何れの子供ハ其故に
此礼と教ふる其故に
苦學すといハ其も其身
健康なり
現今ハ大抵此法採用のき
ども往古の読書人ハ只勉強
しその弱を知て養生とせざる
ゆえ大抵
身体脆弱小
勇なく無用の人となれり



曙の國輝一宮

幼童家庭教育用絵畫

1873（明治6）年に文部省から、47枚が刊行された。

幼童家庭ノ教育ヲ助ル為メニ、今般当省ニ於テ、各種ノ絵畫玩器等ヲ製造セシメ、之ヲ以テ幼稚座臥ノ際遊具ノ具ニ換ヘバ、他日小学就業ノ階梯トモ相成其功少カラサルベク「文部省布達」

また、「文部省報告」には、以下のような説明もある。

欧米列国ノ先案ヲ模擬シ、各種ノ絵畫玩器等ヲ造リ、遍ク之ヲ播布シ、以テ家庭ノ訓ニ供ス。

これ以降も続けて刊行されたらしく、現在104枚が確認されていると
『文部省掛図総覧二』中村紀久ニ解説

日本体育大学図書館では、49枚を所蔵している。

これらは、官版の「おもちゃ絵」だといっていい。
以下では、民間発行の「おもちゃ絵」を紹介する。

民間の知識・教訓画

孝行のごほうび



江戸期以来の「善」「悪」対比



大實語教 二第

人肥故不尚
以有智為貴

唐土戰國の時齊の國ふ
晏嬰といひ一智者あり
身の丈四尺よきも
容形鬼のおく 醜し
とも齊の丞相として君
補て國を治す方の誠國
厚しめをうけむて國
強し是晏嬰の智術
よき出づ其御者の夫に
身の丈八尺よきも色白
く肥太りよきも男姿あま
も晏子の車をやう年
月をおくる御者の妻はと
あけさて暇をさひし事
史記に見たり



山高故不貴 以有樹為貴 (山高きが故に貴からず 木有るを以て貴しとす)

人肥故不貴 以有智為貴 (人肥えたるが故に貴からず 智有るを以て貴しとす)

← 「史記」 晏嬰 (あんえい) の御者の故事を引いて、例証としている。



冊子形態の「実語教」。」子ども向けの装丁本

江戸期の定番教科書も民間には出回っていた。



江戸期以来の「善」
「悪」の対比、でも
よく見ると・・・

「小学読本はもうあげました。」



寛政出版人神田銀次郎五ヶ地長谷川寛次郎



『錦絵修身談』

(全六巻) 明治15年 山名留三郎など 普及舎 絵は月岡芳年

内容 和+漢+洋の教訓話と見開きの挿絵

これは、本の挿絵（見開き）であり「おもちゃ絵（一枚絵）」ではない。

卷四（九）瞽女志を励 して裁縫に達す



1. 大和の「しか女」盲目⇒裁縫名人
2. 塙保己一 目者（めあき）は不便
修身談 盲目のひとでさえ 文字や裁縫を覚えよ



錦繪修身談二卷



(五) 忍耐にありきまは大事と大
遂ぐることを能はず
丁六

年方
百親
校



(八) 意を用ゐるは天地の間の事物
一も學問の道あるべきなるいな
丁三

其
年
親
校

『錦繪修身談』掲載の修身教材に対応して書かれた一枚絵。
「修身口授」の活動を行うために掲示する図像集。

錦繪修身談卷四



七 惡漢志を改めて善人とする士

年重画
年祝校

錦繪修身談卷四



五 精の到るを以て何事ならん

年重画
年祝校

錦繪修身談卷四



八 文侯信を踐きて國と興を

年重画
年祝校

錦繪修身談卷五



錦繪修身談卷五



錦繪身修談卷四

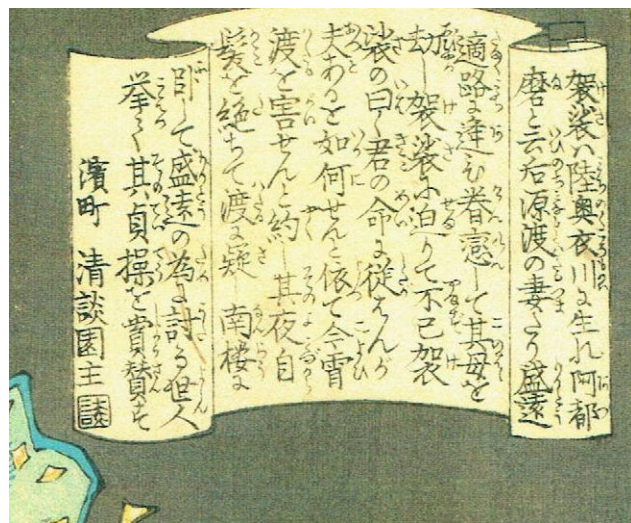


錦繪身修談卷五



教導立志基

教訓一枚絵シリーズ



「平家物語」の「袈裟
 と盛遠」後、文覚上
 人」のエピソード。
 史話を教訓として読む
 ことは、「修身教育」
 の中心になっていく。



基督教立基



毛利元就の幼少の時
 松葉丸稱を從者小侍ら
 從者頭とて神前如何
 する事も祈らば若御蓮
 目出度當國の主成主人と
 を祈り候と聞て治哉事を祈
 らば今迄日本全国の主なる
 事を願ていふ人なしと
 望の成し主なるの難きを知ら
 せぬ云々
 幸傳述

持
 吉平

明治四年四月 印刷
 光緒二十年四月 出版
 吉平木村 發行

基督教立基



傳梅道員は、幼少の時、
 口教の作者に備へて、人皆の傳
 母世不有と和泉式部とて、
 三内侍の歌を母と撰作せしもの
 故、其時和泉式部、丹後小倉に
 在りし中納言定頼卿、歳に丹後、
 使に歸りたりと聞て、小内侍
 取次、大江山に於て、その母を
 召はせしめ、もり吹奏の一首
 と和泉の作者に備へて、返歌を
 出さしめ、と人
 花月撰書別記

持
 吉平

明治九年十月 印刷
 光緒十五年十月 出版
 吉平木村 發行

真ん中の図 拡大



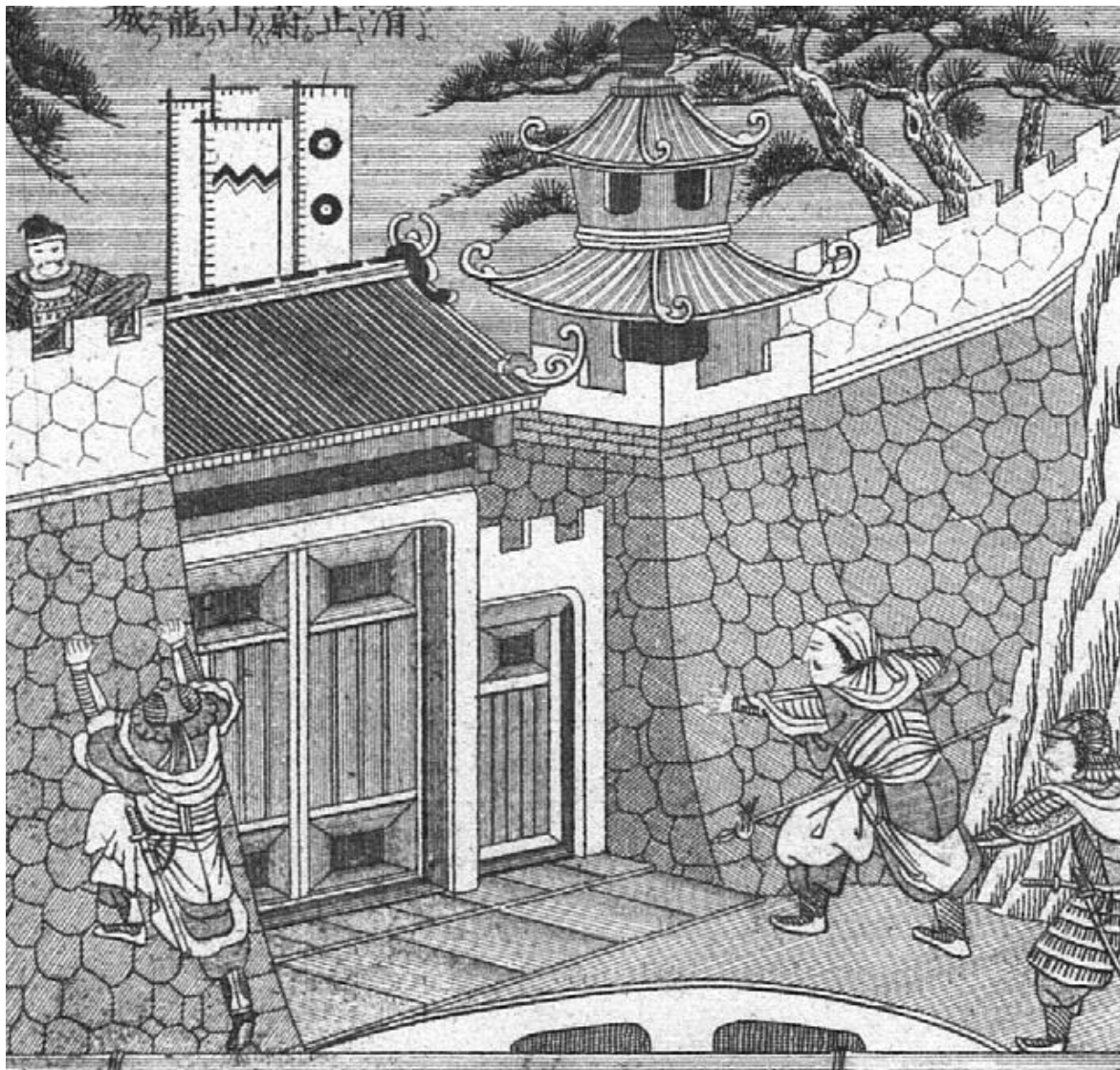
- 神功皇后（仲哀天皇の後）
- 三韓征伐
- 渡海の際、お腹に石を当ててさらしを巻き、冷やして出産を遅らせた。（産れたのは応神天皇）
- 武内宿禰 = 伝説上の忠臣

明治22年 銅版画（エッチング）
木版よりも細密

新撰教育図畫



真ん中下の図 拡大

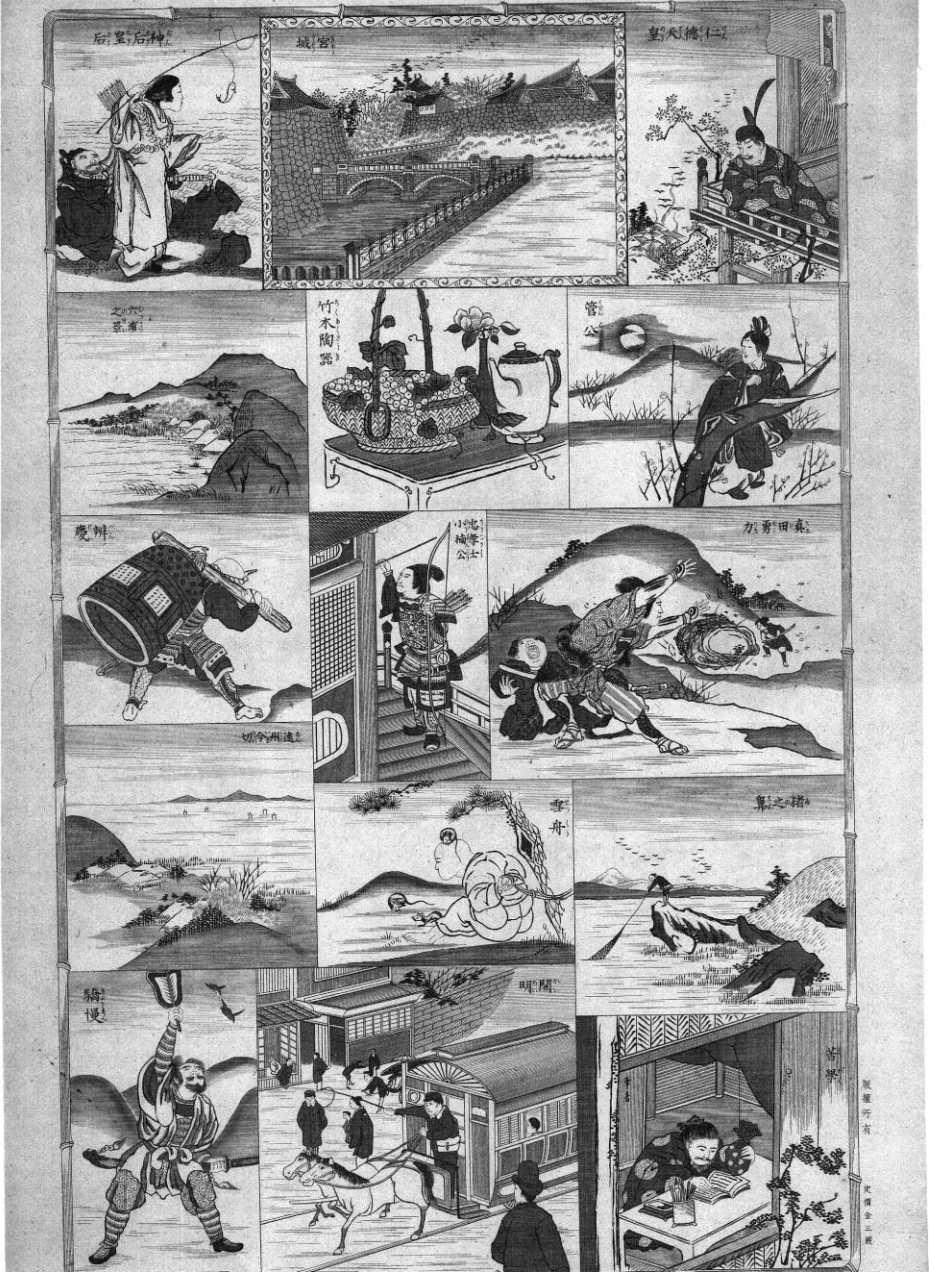


加藤清正 蔚山（ウルサン）籠城 ● 蛇の目 = 家紋

右下の図 拡大



吉備真備 野馬台之詩（予言詩） 蜘蛛の糸



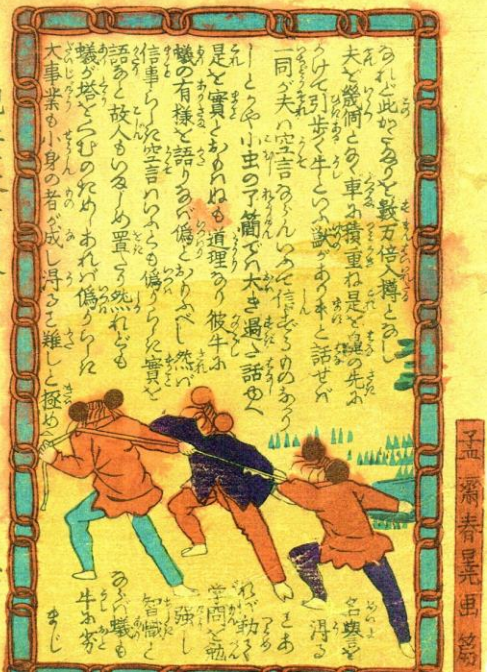
神功皇后・雨乞い小町・常磐御前・為朝琉球に渡る・牛若
五条の橋・吉備真備(野馬台詩)・加藤清正蔚山籠城
また、
仁徳天皇・菅原道真(菅公)・真田幸村・楠木正行(小楠
公)・弁慶・雪舟の鼠・螢雪の功(車胤)

それぞれのエピソードは、**想像力の共同体**を形成する。

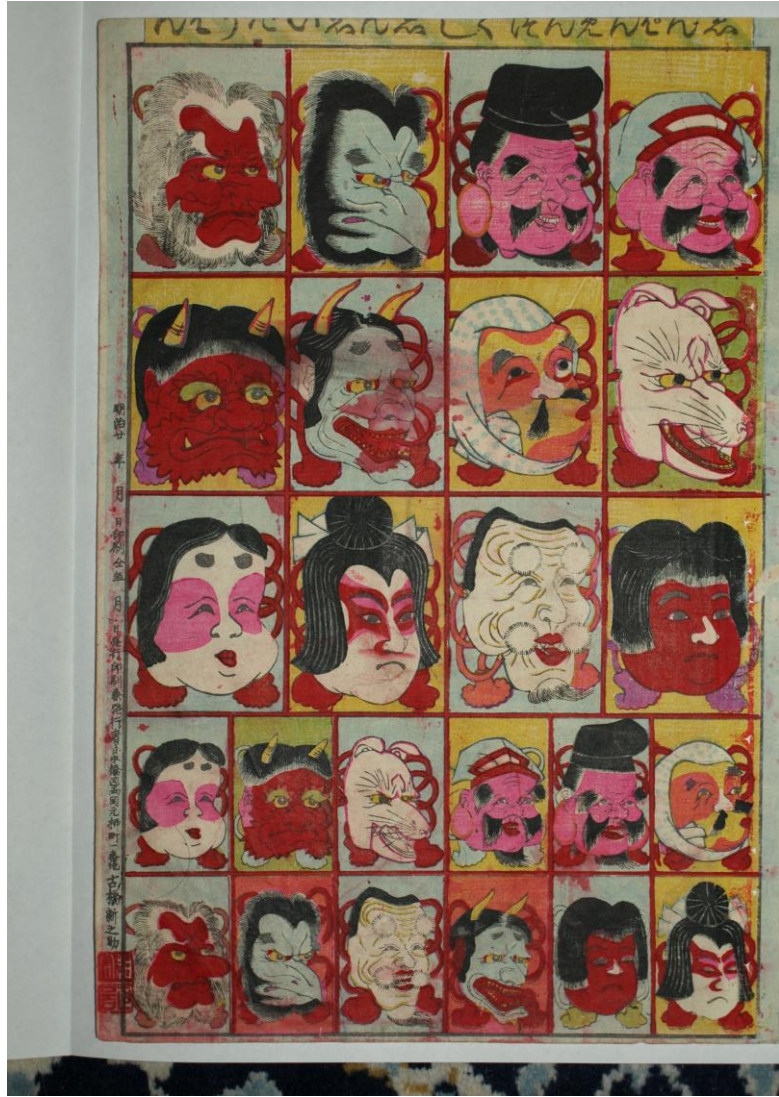
それを固定する図像(表象)の役割

決まった持ち物やスタイル・アイテムが図像によって示される。↓神功皇后なら、武装した女性+赤児を抱く武内宿禰(白髪の老人男性)

また、このコマ絵に関して、子どもが大人に質問すること
で史話を話しての交流が生まれる。

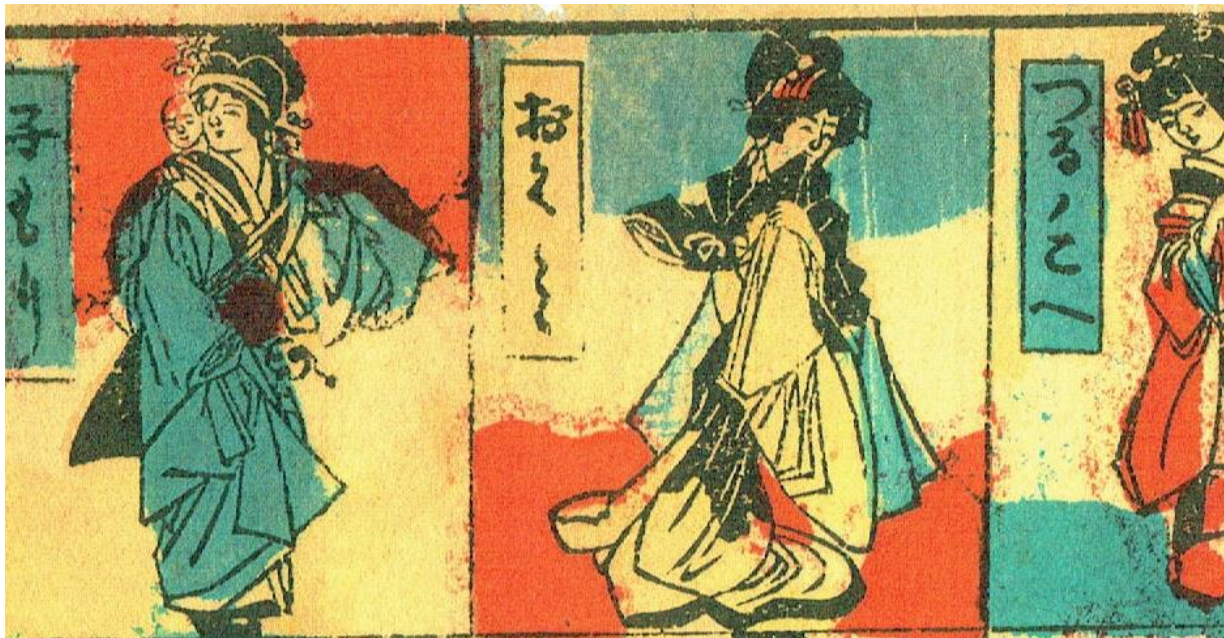


イソップ（蟻と鳩）木版画
「情けは人のためならず」



2. もの尽くし

もっとも「おも
ちや絵」らしい



い ろ は ね かん

<p>いんげん あまのこ</p>	<p>あまのこ あまのこ</p>	<p>あまのこ あまのこ</p>	<p>あまのこ あまのこ</p>	<p>あまのこ あまのこ</p>	<p>あまのこ あまのこ</p>
<p>あまのこ あまのこ</p>	<p>あまのこ あまのこ</p>	<p>あまのこ あまのこ</p>	<p>あまのこ あまのこ</p>	<p>あまのこ あまのこ</p>	<p>あまのこ あまのこ</p>
<p>あまのこ あまのこ</p>	<p>あまのこ あまのこ</p>	<p>あまのこ あまのこ</p>	<p>あまのこ あまのこ</p>	<p>あまのこ あまのこ</p>	<p>あまのこ あまのこ</p>
<p>あまのこ あまのこ</p>	<p>あまのこ あまのこ</p>	<p>あまのこ あまのこ</p>	<p>あまのこ あまのこ</p>	<p>あまのこ あまのこ</p>	<p>あまのこ あまのこ</p>

和装美人

御座月 年 日

三無津人日本橋正吉門五番地 提吉兵衛

西本橋 板本 しのぼり

御座月 年 日

かさは破れ扇、刀は杉箸にてこしらえる



紙を切り、図のごとく載せてかしらとするなり



紙を畳んで笠とゴザを見せるなり



にやあにやあ



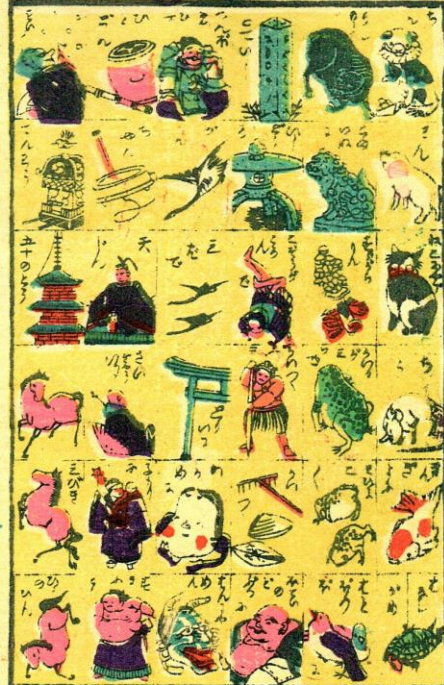
仮名手本忠臣蔵五段目

着物の柄・髪型・障子の棧・腰板の模様などに注意

お盆板ん志



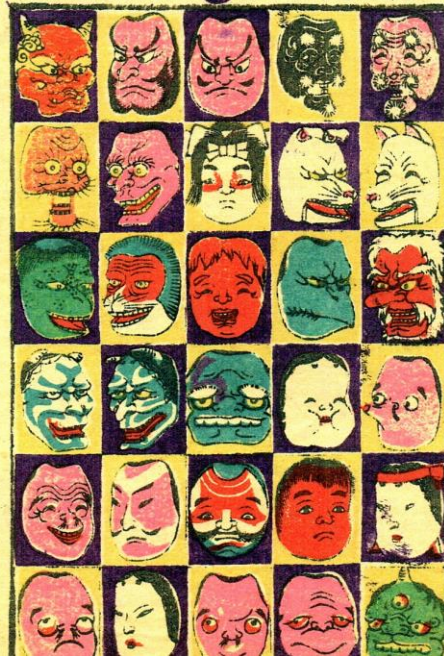
お盆板ん志



お盆板ん志



お盆板ん志



お盆板ん志 五利不 ンパヤリコソパ行流隔ん志

桐原明治十八年七月 日



五利不板人 神田元祐之宮の御番始 以梅田と我正

大貫





山口版

新板古見豆 六の



明治廿五年 三月十日

出 花川 長

北地板

ん板もちづく



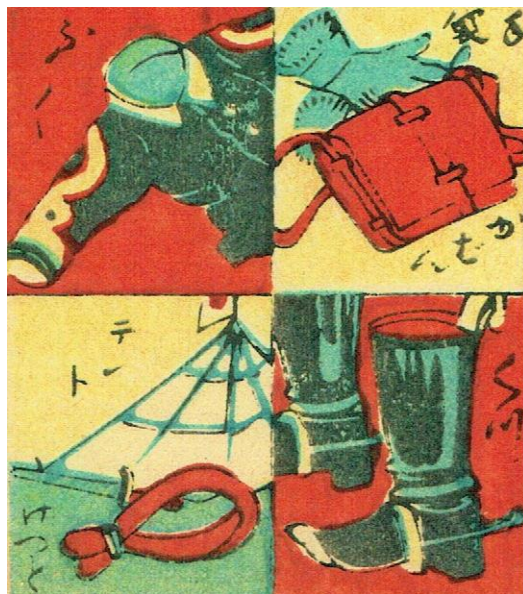
豊原



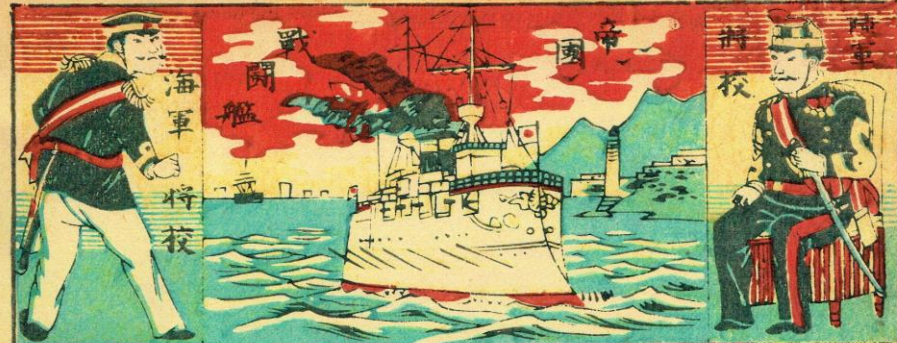
新島版 志 島 山 甚 梓



良い天気だ
にぎやかだねえ
たいそうな人でございます



海陸軍人軍用器 第九号



明治三十七年 月 日

印刷兼發行者 東京市浅草區西馬場町三番地 塚切王藏

加吉版

新板五十二座神樂

明治廿五年

册

日出版

著作印刷兼發行者日本橋區吉川町五番地 堤吉兵衛



加吉版

國利立

日本産物之自名

御届明治二十五年十月七日

画工兼松人日本橋區吉川町五番地 堤吉兵衛



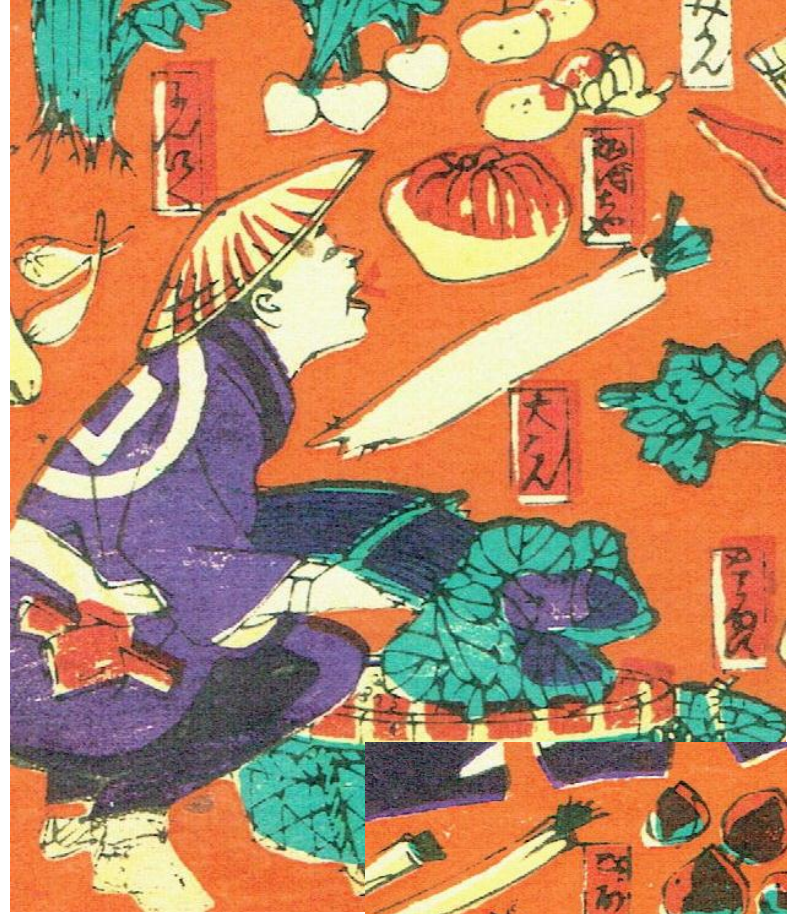


福引長發明龍年十一月一日即刷全月八日發行印冊人愛印真名皇帝切切西百六番戸塚本拾三郎



新編野菜問答 改良口 綱島成

明治三十二年三月三日出版 印刷者 日本 東京 馬喰町三丁目十四番地 綱島成





歌川芳藤は玩具絵において、丁寧な仕事をしており
「おもちゃ芳藤」と呼ばれた。
文政11（1828）年－明治20（1887）年



おもちゃ絵の内包する問題

ここまでのまとめ

内容面について

官版子どもの内面世界の
形成

- ・ 勸善懲惡
- ・ 美的感覚の形成
絵面 歌舞伎的な美
色彩感覚
- ・ 修身教育
- ・ 啓蒙的教育

形式面について

- ・ 安価 おざなり
- ・ 子どもが参加できる
- ・ 消耗品